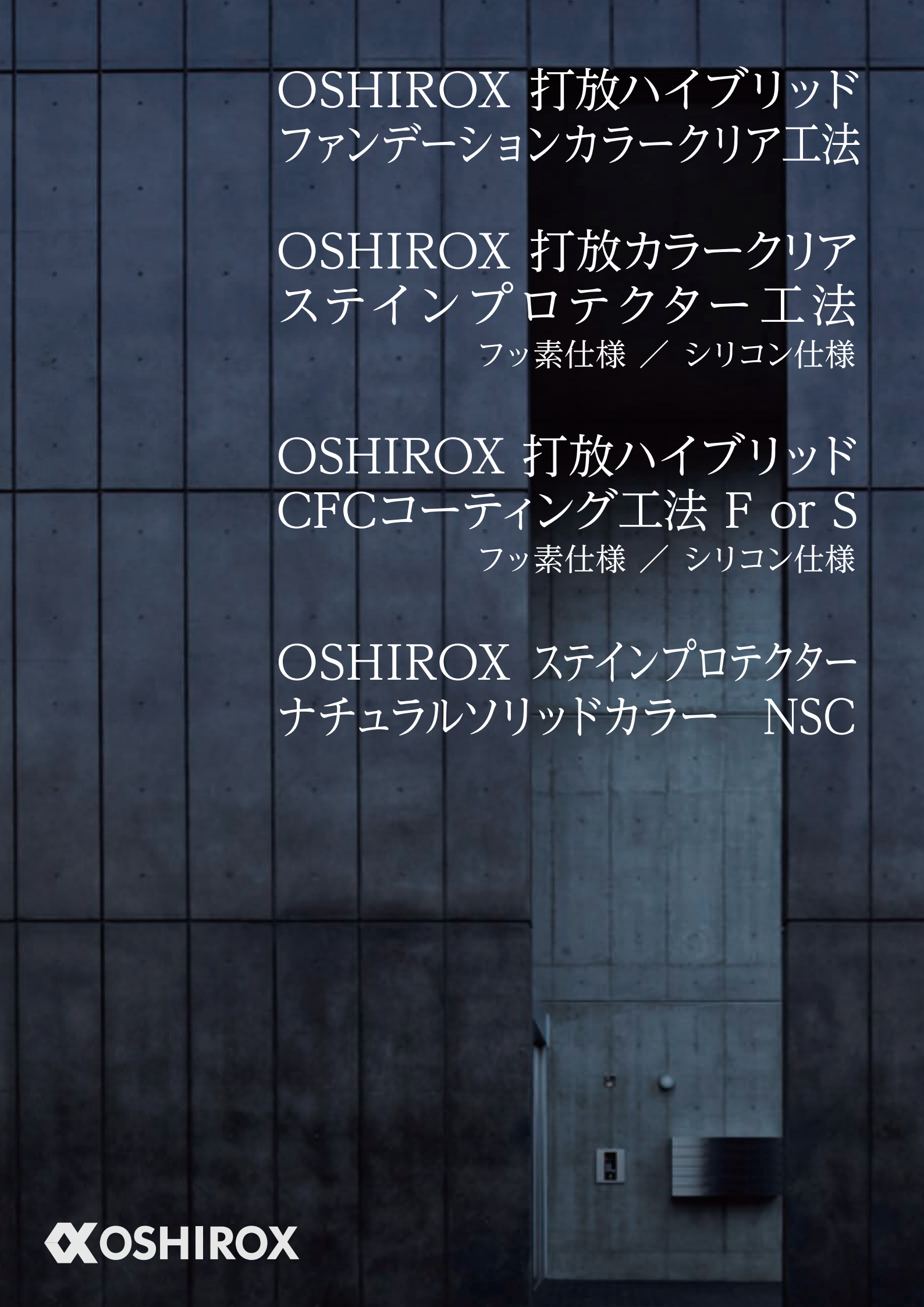


OSHIROX 打放ハイブリッド
ファンデーションカラークリア工法

OSHIROX 打放カラークリア
ステインプロテクター工法
フッ素仕様 ／ シリコン仕様

OSHIROX 打放ハイブリッド
CFCコーティング工法 F or S
フッ素仕様 ／ シリコン仕様

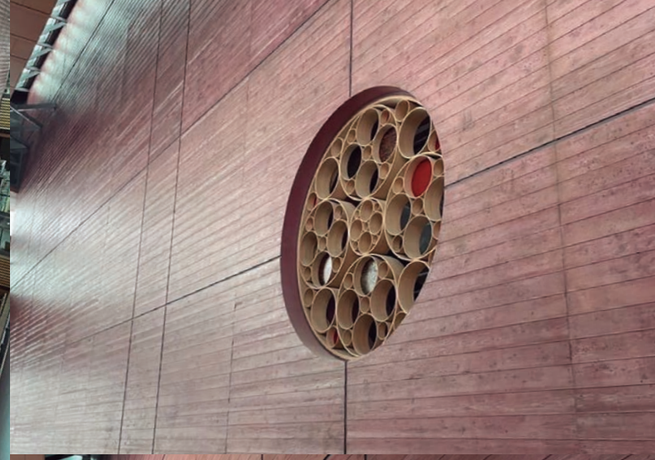
OSHIROX ステインプロテクター
ナチュラルソリッドカラー　NSC

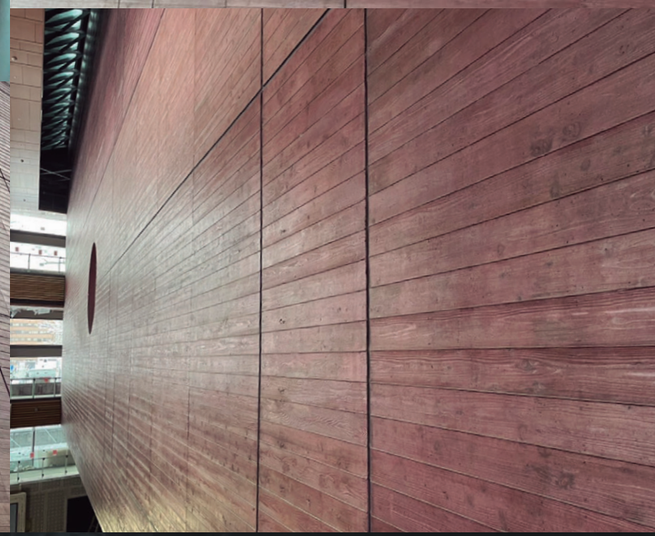
OSHIROX

OSHIROX 打放ハイブリッド
ファンデーションカラークリア工法

OSHIROX 打放ハイブリッド ファンデーションカラークリア工法 とは

打放ハイブリッドファンデーションカラークリア工法は、打放コンクリートに素地の風合いを
大切にするため、ファンデーションをすることによりローラームラが付きにくく、
その意匠を活かす特殊な塗装を施す工法です。
降雨によるセルフクリーニング及びUVカット機能により、コンクリート躯体を長期間保護します。



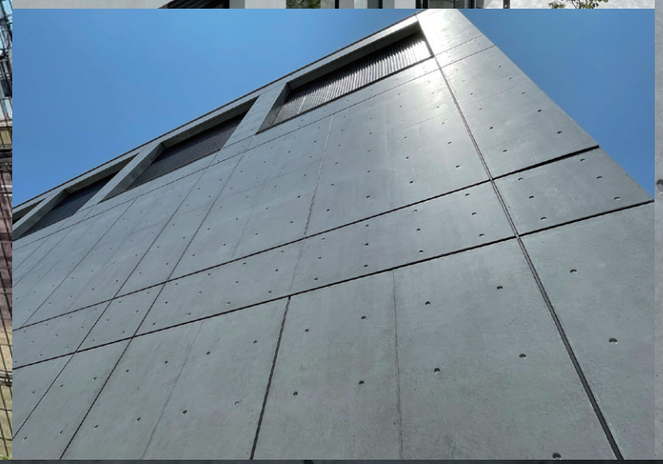


OSHIROX 打放カラークリア ステインプロテクター工法

フッ素仕様 ／ シリコン仕様

OSHIROX 打放カラークリア ステインプロテクター工法 とは

打放カラークリア ステインプロテクター工法 は、打放コンクリートに素地の風合いを大切に、
その意匠を活かすための特殊な塗装を施す工法です。
降雨によるセルフクリーニング及びUVカット機能により
コンクリート躯体を長期間保護します。

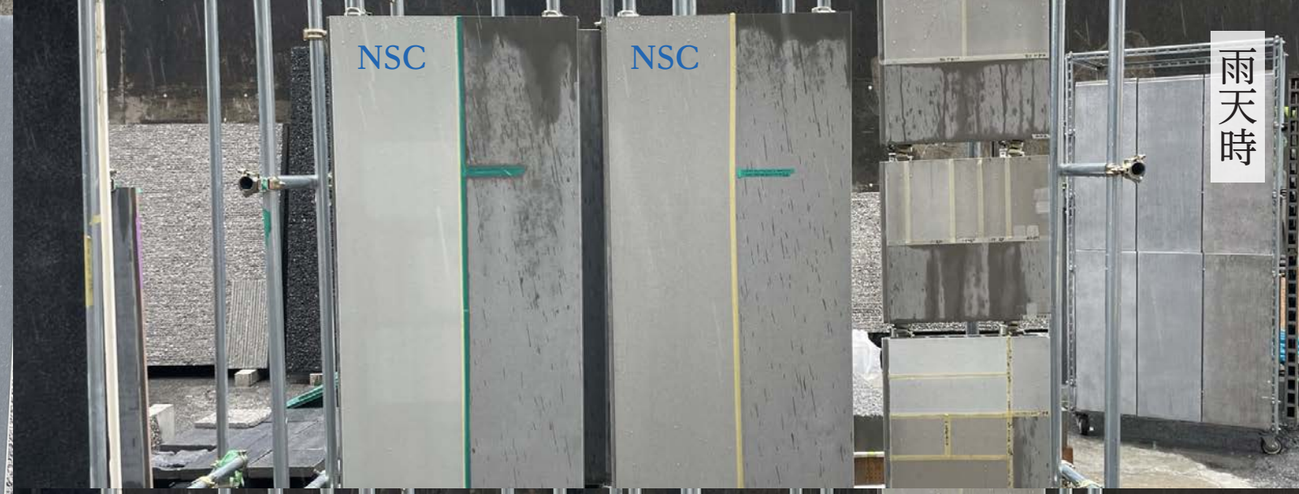


OSHIROX 打放ハイブリッド CFCコーティング工法 F or S

フッ素仕様 ／ シリコン仕様

OSHIROX 打放ハイブリッドCFCコーティング工法 F or Sとは

打放ハイブリッドCFCコーティング工法 F or Sは、打放コンクリートに意匠の風合いを大切に、
その意匠を活かすための特殊な塗装を施す工法です。
超耐候性打放ファンデーション意匠で独自のファンデーション意匠を施し、
降雨によるセルフクリーニングUVカットで長期間保護します。



OSHIROX ステインプロテクター ナチュラルソリッドカラー　NSC

OSHIROX ステインプロテクター ナチュラルソリッドカラー NSCとは

ステインプロテクター WASプレミアNSCはセメント成形板の塗膜コートです。
本コートによって形成される塗膜は耐久性・耐候性に優れており、セメント成形板を塩害、
中性化などのトラブルから長期的に保護します。
またセメント成形板に対して高い密着性を有しており、吸水に起因する濡れ色を防止します。
ステインプロテクター WASプレミアNSCは環境に配慮した製品であり、環境への負荷や臭いがほとんど無く、
臭いの発生などが強く制限された現場でもご使用頂けます。

施工の流れ

ECPの場合

- ファンデーション カラークリアー
- カラー クリアー
- CFC コーティング
- ステイン プロテクター
- 躯体状態 確認
- 躯体補修
- カチオン プライマー (OXC-CWP)
- ファンデーション カラークリアー (OXC-FCC) (意匠付)
- エポキシ プライマー (OXC-EPO)
- クリア (OXC-WAS/WPM) (一層目)
- カラークリア (OXC-WAS/WPM) (一層目)
- ベースカラー (OXC-WCC)
- カラークリア (OXC-WAS/WPM) (一層目) (NSC)
- OSHIROX 打放ハイブリッド CFCコーティング工法 F or S
- 一部仕上げたところで建設会社様・設計者様に承諾を得て作業を継続する
- クリア (OXC-WAS/WF) (二層目)
- カラークリア (OXC-WAS/WF) (二層目)
- フッ素 トップコート (OXC-WF)
- カラークリア (OXC-WAS/WF) (二層目) (NSC)

RC・PCの場合

- ファンデーション カラークリアー
- カラー クリアー
- CFC コーティング
- 躯体状態 確認
- 躯体補修
- より躯体を保護したい場合は、高濃度含侵シリカコート(OXC-FD/HB/P)を塗布する
- 含浸シリカ シーラー (OXC-FD)
- 躯体の状況による吸い込み、ムラを押さえるために、OXC-CWPをオプションもあります。
- エポキシ プライマー (OXC-EPO)
- カチオン プライマー (OXC-CWP)
- ※オプション
- ファンデーション カラークリアー (OXC-FCC) (意匠付)
- ベースカラー (OXC-WCC)
- クリア (OXC-WAS/WPM) (一層目)
- カラークリア (OXC-WAS/WPM) (一層目)
- OSHIROX 打放ハイブリッド CFCコーティング工法 F or S
- 一部仕上げたところで建設会社様・設計者様に承諾を得て作業を継続する
- クリア (OXC-WAS/WF) (二層目)
- カラークリア (OXC-WAS/WF) (二層目)
- フッ素 トップコート (OXC-WF)

RCマイクロクラック追随仕様の場合

- ファンデーション カラークリアー
- カラー クリアー
- CFC コーティング
- 躯体状態 確認
- 躯体補修
- 散水 (OXC-W-) 102 散水
- 含浸シリカ シーラー (OXC-FD)
- エポキシ プライマー (OXC-EPO)
- 躯体の状況による吸い込み、ムラを押さえるために、OXC-CWPをオプションもあります。
- カチオン プライマー (OXC-CWP)
- ※オプション
- ファンデーション カラークリアー (OXC-FCC) (意匠付)
- ベースカラー (OXC-WCC)
- クリア (OXC-WAS/WPM) (一層目)
- カラークリア (OXC-WAS/WPM) (一層目)
- OSHIROX 打放ハイブリッド CFCコーティング工法 F or S
- 一部仕上げたところで建設会社様・設計者様に承諾を得て作業を継続する
- クリア (OXC-WAS/WF) (二層目)
- カラークリア (OXC-WAS/WF) (二層目)
- フッ素トップ コート (OXC-WF)

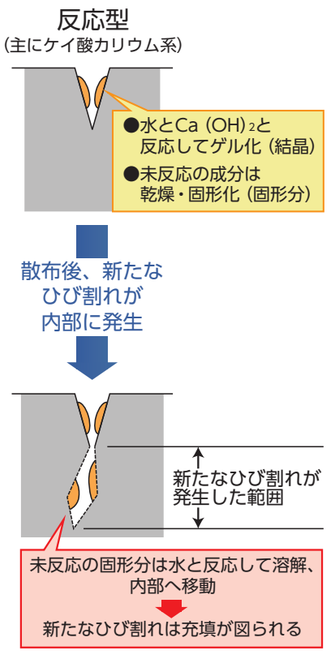
内装の場合

- CFC コーティング
- 躯体状態 確認
- 躯体補修
- 水性 エポキシ プライマー (OXC-W/EPO)
- ベースカラー (OXC-WCC)
- OSHIROX 打放ハイブリッド CFCコーティング工法 F or S
- 一部仕上げたところで建設会社様・設計者様に承諾を得て作業を継続する
- TOPコート シリコントップコート (OXC-WAS)

オプション

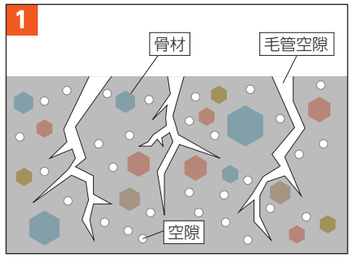
マイクロクラック追随仕様※を組み入れることも可能

W-102反応型（イメージ）

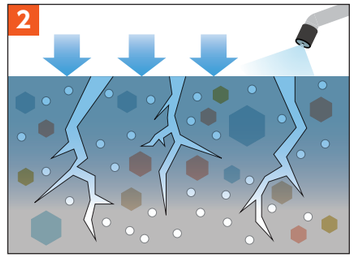


RCにオプション マイクロクラック追随（効果・特徴）

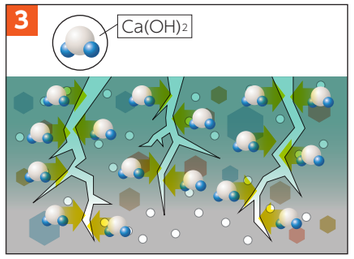
コンクリートへの効果



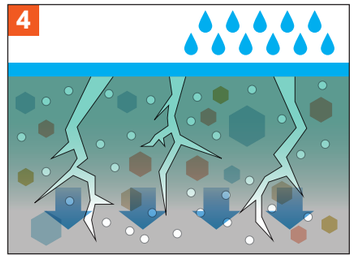
打設後や脱型後の乾燥による収縮などで微細な毛管空隙・空隙が発生する。



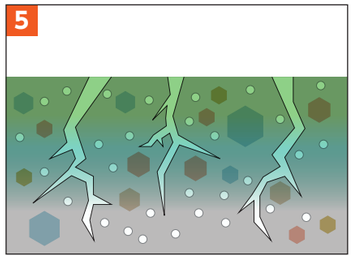
噴霧器や刷毛等を用いてコンクリート表面にOXC-W-102を塗布します。



内在する水酸化カルシウム（$Ca(OH)_2$）と反応し、C-S-H系の結晶（ゲル状の無機ポリマー）を生成



雨等の水分によって未反応の材料が躯体内部へ更に浸透。内部で3を再度繰り返す。



時間の経過に伴い水密層を形成し、水路を塞ぐ。空気に接するC-S-H系の結晶は固化体化し水の進入を防ぐ。

効果・特徴

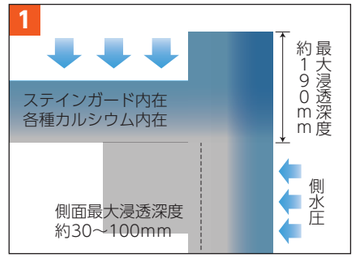
1. コンクリート内部の毛管空隙を充填し、内部外部を問わず防水効果を発揮します。
2. 常に湿潤・滞水状態のコンクリートも防水可能です。（各種ピット、水槽等）
3. 外壁のクラック（タイル上から）への施工も有効。（PC板も可能）
4. 新築時の施工で水分供給による異常膨張や低質RCの早期炭酸化（中性化劣化）を防止。
5. 白華現象（エフロレッセンス）の発生を抑制。
6. コンクリートの多孔性状を平滑化し、高いプライマー効果を発揮。
7. 全てのセメント質を含む部分に使用が可能です。
8. 材料の安全性は高い評価を得ています。（水道施設の技術的基準、資機材等の材質に関する試験に合格）

※マイクロクラック追随仕様とは？

W-102反応型

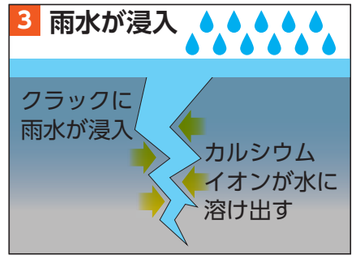
W-102はコンクリートの中の水酸化カルシウムとの反応によりC-S-Hゲルを生成して、コンクリート中の空隙を充てんする。未反応のまま残存している主成分が乾燥により析出しても、水分が供給されると再度溶解し、水酸化カルシウムとの反応を有する。改質効果を発現させるためには、材料を溶解状態にしておく必要があり、養生期間中はコンクリートを湿潤状態に保つことを必要とする。

クラック部分の効果



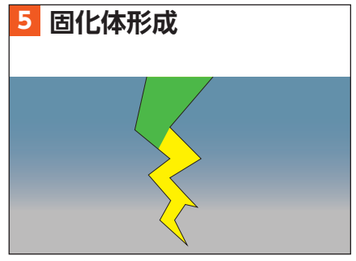
低圧散水により、ステインガードがコンクリート内部に浸透。

反応範囲は、貫通クラック0.2mmをカバー。



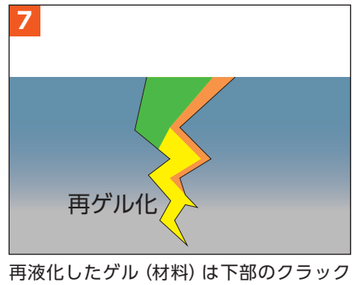
ステインガードが各種カルシウム・水と相互反応。

相互反応したステインガードがゲル状になりクラックを充填。

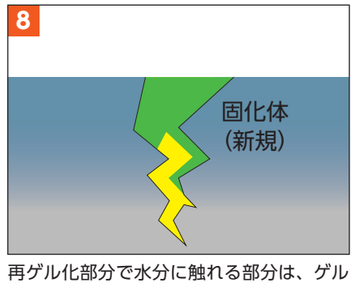


充填したゲルの上部が水に溶け出したカルシウムイオンとの反応で固化体となりクラックを埋める。毛管空隙の上部も同様である。

充填部分に再クラックが入ると、ゲル（乾燥状態）に水分が接触、可逆的返還でゲルが再液化（オレンジ部）し、クラック下部へ流出。



再液化したゲル（材料）は下部のクラック界面で遊離カルシウムと反応し、再度ゲルを生成し、水の侵入を防ぐ。



再ゲル化部分で水分に触れる部分は、ゲルから固化体へと変化する。水分に触れない再ゲル化部は次のクラックに備える。

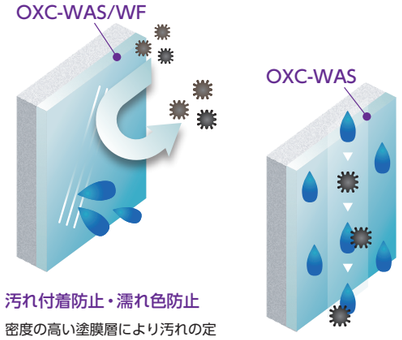
OSHIROX 打放カラークリア
ステインプロテクター工法
シリコン仕様 ／ フッ素仕様

コンクリート専用 / 超低汚染 / UVカット / 雨水によるセルフクリーニング / 高耐久性 高耐候性 / 環境に配慮 / 臭いがほとんどない / 含浸シリカコート シランシロキサン

塗膜型 超低汚染コーティング

非常に高いレベルでの親水性・密着性を発揮し、汚れをの定着を防ぎます。

超低汚染コーティングの効果



汚れ付着防止・濡れ色防止

密度の高い塗膜層により汚れの定着を防ぎ、コンクリートに対して高い密着性を有しているので吸水に起因する濡れ色を防止します。

雨で汚れを落とす効果

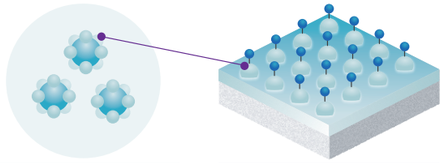
汚用コート剤の塗膜は雨水だけをはじき汚れを落としませんが、ステインプロテクターWASプレミアは高い親水性により、雨水が塗膜となじむことで汚れを洗い流す効果があります。

雨水によるセルフクリーニング機能。

超低汚染のメカニズム

親水性

分散していた、親水化剤が塗膜全体に配置されることにより、密度の高い親水性塗膜表面を形成し、汚れの付着を防ぐ「超低汚染性効果」を発揮します。



低帯電性

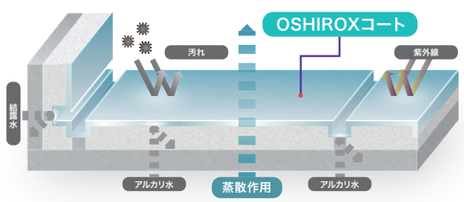
汚れの原因となる静電気。ステインプロテクターWASプレミアは塗布面の表面抵抗を低くし、帯電を抑え、静電気による汚れの付着を防ぎます。

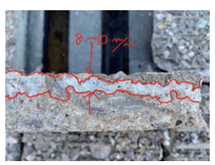
コンクリートに対する 高い密着性・高架橋密度

ステインプロテクターWASプレミアは、コンクリートに対して密度の高い塗膜層を形成し汚れの定着を防ぎます。また高い密着性を有しているので、吸水に起因する濡れ色を防止します。

弊社の含浸性コート剤

弊社の含浸性コート剤の塗布を行いますと高い吸水防止効果が得られます。
また、コンクリートに含浸層が形成されることにより、内側からの水分移動が軽減されエフロレッセンス（白華）の発生及びコンクリートの中性化が抑制されます。さらに含浸性コート剤がコンクリート間の密度を向上させて緻密にすることでコンクリート自体の強度を高くします。
塗膜下に含浸させるシリカコートはシランシロキサン統合の高性能含浸剤を使用しコンクリートの中性化、塩化物イオンの侵入を遮断し、躯体鉄筋を長期に渡り守ります。




ウォータージェット施工面
含浸シリカコート含浸の深さ画像

研ぎ出しPC
含浸シリカコート含浸の深さ画像

ホルムアルデヒドを含まない

ホルムアルデヒド放散量が検出限界値以下（0.030 mg / l）であり、ホルムアルデヒドを含んでいません。よって外壁だけで無く内壁にも安心して使用していただけます。

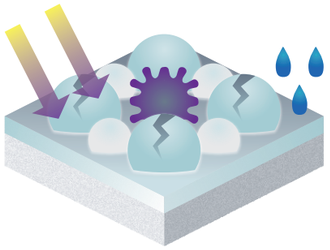
超低汚染性

超低汚染性で汚れが付着しにくく、付着しても水洗いなどで簡単に除去できます。また耐洗浄性に優れているため、洗浄により塗膜が劣化する心配がありません。

高耐久性・高耐候性

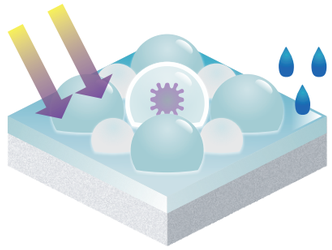
優れた耐久性・耐候性でコンクリートを塩害・中性化などのトラブルから保護します。

汚用コート剤



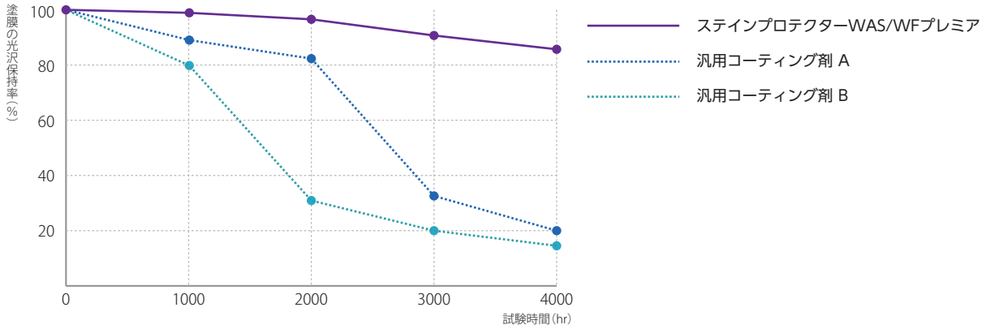
紫外線・水・酸素・二酸化炭素などの影響を受けると、塗膜内に劣化因子が発生し、周囲の塗膜組織を破壊させてしまいます。

ステインプロテクター WAS/WFプレミア



ステインプロテクターWAS/WFプレミアは、塗膜を形成し、劣化因子の発生を抑制します。劣化の進行を抑え高耐久性・高耐候性を高め、コンクリートをトラブルから保護します。

耐候性試験



環境に配慮

負荷や臭いがほとんど無く、臭いの発生などが強く制限された現場でもご使用頂けます。

通気性を保持

ステインプロテクターWAS/WFプレミアは、塗膜でありながら通気性を保持しています。湿気がコンクリート内部に溜まることはありません。

風合いをそのままに

ペンキなどのように覆いかぶせるものとは異なり、コンクリートの風合いや個性を損なわない仕上がりになります。

OSHIROX 打放ハイブリッド CFCコーティング工法 F or S

フッ素仕様 ／ シリコン仕様

耐候性、低汚染性について

【構成】

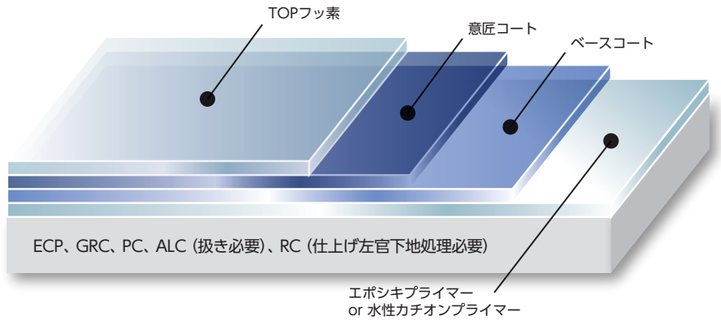
ECP、GRC、PC、ALC（扱き必要）、RC（仕上げ左官下地処理必要）
エポシキプライマー or 水性カチオンプライマー
ベースコート（変性シリコンアクリル塗料）
意匠コート
フッ素TOPコート

【特長】

フッ素TOPコートにより意匠を長期に守ります。

【塗膜構造】

原料にリコート可能なフッ素を使用することでリコート性能が上がります。



【性能試験成績表】

試験項目	試験結果 ステインプロテクター OXC-WF	試験結果 ステインプロテクター OXC-WAS	規定及び試験方法
容器の中での状態	合格	合格	堅い塊がなく一様になる。
低温安定性（−5℃）	合格	合格	変質しない。
塗装作業性	合格	合格	2回塗りで、はけ塗り塗装作業に支障がない。
塗膜の外観	合格	合格	正常である。
隠ぺい率％（白及び淡彩）	98	98	95以上
鏡面光沢度	80	80	70以上
耐水性	合格	合格	96時間浸漬したとき光沢保持率が80%以上で、塗面に異常がない。
耐アルカリ性	合格	合格	7日間浸漬したとき光沢保持率が65%以上で、塗面に異常がない。
耐洗浄性	合格	合格	1,000回の洗浄に耐える。
耐湿潤冷熱繰返し性	合格	合格	光沢保持率が80%以上で、湿潤冷熱繰返しに耐える。
屋外暴露耐候性	合格	合格	12ヶ月の試験で、白亜化の等級は2以下で、割れ・剥がれ・膨れ及び穴がなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて差がない。
耐汚染性	5	5	屋外暴露６ヶ月のグレースケール値５（良好）→１（不良）
促進耐候性	合格（耐候形1種）	合格（耐候形1種）	（キセノンランプ）照射時間2,500時間で、塗膜にひび割れ、剥がれ、及び膨れがなく、光沢保持率は80%以上で、変色の程度がグレースケール3号以上であり、白亜化の等級は1以下とする。

※この試験結果は、艶有りのものです。

長期修繕計画について

OSHIROX 打放ハイブリットCFC工法 Fは、20年の耐候性があり、Sは15〜18年の耐候性があります。

・塗替え頻度は20年相当

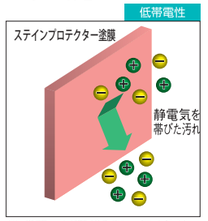
（リコート可能なTOPコート、旧塗膜を剥がす必要がありません）
塗替え時に、意匠を変更することも可能です。

メタルハライドランプ式耐候性試験機による促進耐候性試験※1 3,000時間※2 試験実施

※1…促進耐候性試験を大阪産業技術研究所に依頼（依頼試験報告書 令和2年度 阪技術研顧客サ第1 − 00545号）。評価は自社による。
※2…日本の屋外における年間平均紫外線量（300〜400nm）として、50〜60年に相当するといわれている。

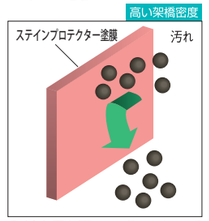
・汚染除去のメカニズム

1. 汚れが付着しにくい



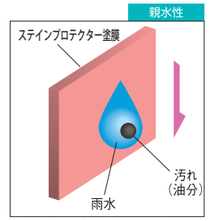
塗膜表面に帯びる静電気を低減することにより、汚染物質の付着を抑制します。

2. 汚れが定着しにくい



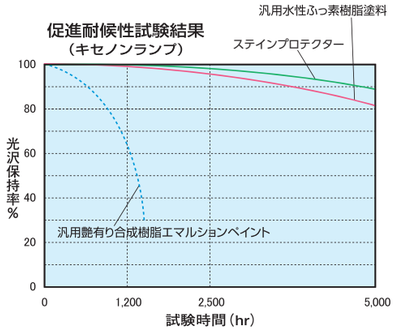
架橋密度が高まったことから、汚染物質の衝突による塗膜変形を減少させ、塗膜への汚染物質の定着を抑制します。

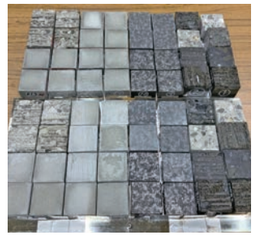
3. 汚れが除去されやすい



水との接触角が低くなったことから、濡れ性（親水性）が向上し、汚染物質の洗浄効果が現れ、汚れが落ちます。

・耐候性比較





・OSHIROX試験報告書

【試験名称及び概要】

試験名称：OSHIROX 打放ハイブリッドCFCコーティング工法 F or S塗装を施したモルタル板試験体のメタルハライドウェザーメーター耐候性試験
試験概要：モルタル片にOSHIROX 打放ハイブリッドCFCコーティング工法 F or S仕様で塗装し、メタルハライドウェザーメーターによる促進耐候性試験を行った。試験前、試験途中、試験後において外観の変化を観察した。

1. 試験体仕様

1. ISO基準砂をもちいた25*50*50(mm)のモルタル板の試験面（上面）に《1. OXC-EPO　2. OSHIROX 打放ハイブリッドCFCコーティング工法 F or S ベース　3. OXC-WCC意匠　4. OXC-WF》の仕様で塗装し、現状試験体、ウェーザーメーター用試験体を作成

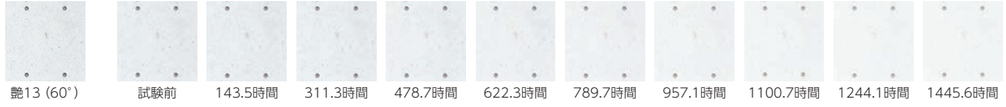
2. 室温養生二週間後、底面、側面をエポキシ塗料でマスキングした

2. メタルハライドランプ式耐候性試験機による促進試験

塗布後2週間室温養生した試験体を、メタルハライドランプ式耐候性試験機にて1,500時間の促進耐候性試験にかけ、約150時間ごとに観察した。

【結　果】

1. 外観記録画像



2. 外観目視記録（控えの試験体との目視比較）より
957.1時間時点でやや白化の傾向が表れ、1100.7時間以降明確な白化がみられた。色調変化はデザインの性質上測定できないが、写真を比較する限り模様自体に変化は見られないため、OSHIROX 打放ハイブリッドCFCコーティング工法 F or Sそのものの劣化というより、上塗りのクリヤー塗膜（OXC-WF）が957.1時間以降を境に劣化していったと考えられる。また、1445.6時間後においても水を滴下した場合のモルタルへの水の浸入はみられなかった。

3. 考察

OSHIROX 打放ハイブリッドCFCコーティング工法 F or S塗装の経年による変化についてメタルハライドウェザーメーターを用いて評価した。
1445.6時間＝紫外線総量換算約29年分においても、膜厚が薄い意匠部（今回の試験体では黒い意匠部分）が劣化等の明確な色変化は起こらず、柄などの保持は期待できることが確認できた。
ただし上塗りのクリヤー塗膜は20年相当から劣化がはじまり、クリヤー塗膜の白化により意匠が白くぼけてしまうため、29年相当でも極端に柄が失われたりはがれたりは起こらずとも、元の意匠性は徐々に損なわれてしまう。工法そのものの耐候年数は20年強と考えられる。

以上

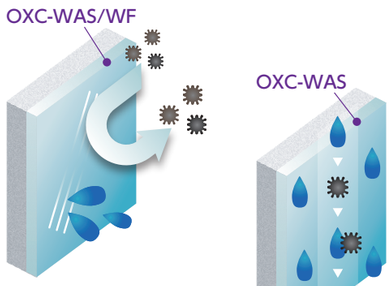
OSHIROX ステインプロテクター
ナチュラルソリッドカラー　NSC/S or F

コンクリート専用 / 超低汚染 / UVカット / 雨水によるセルフクリーニング / 高耐久性 高耐候性 / 環境に配慮 / 臭いがほとんどない

塗膜型 超低汚染コーティング

非常に高いレベルでの親水性・密着性を発揮し、汚れをの定着を防ぎます。

超低汚染コーティングの効果



汚れ付着防止・濡れ色防止

密度の高い塗膜層により汚れの定着を防ぎ、セメント成形板に対して高い密着性を有しているので吸水に起因する濡れ色を防止します。

雨で汚れを落とす効果

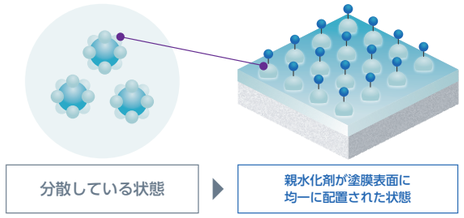
汎用コート剤の塗膜は雨水だけをはじき汚れを落としませんが、ステインプロテクターWASプレミアNSCは高い親水性により、雨水が塗膜となじむことで汚れを洗い流す効果があります。

雨水によるセルフクリーニング機能。

超低汚染のメカニズム

親水性

分散していた、親水化剤が塗膜全体に配置されることにより、密度の高い親水性塗膜表面を形成し、汚れの付着を防ぐ「超低汚染性効果」を発揮します。

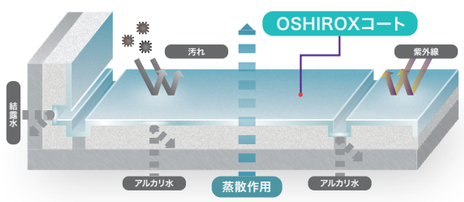


低帯電性

汚れの原因となる静電気。ステインプロテクターWAS/WFプレミアは塗布面の表面抵抗を低くし、帯電を抑え、静電気による汚れの付着を防ぎます。

セメント成形板に対する 高い密着性・高架橋密度

汚れの原因となる静電気。ステインプロテクターWASプレミアNSCは塗布面の表面抵抗を低くし、帯電を抑え、静電気による汚れの付着を防ぎます。



EPC（セメント成型板）

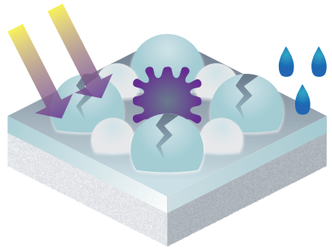
工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/㎡)	塗回数	間隔時間 (hr) 工程内	間隔時間 (hr) 工程間	間隔時間 (hr) 最終養生	備考
素地調整	■下地はよく乾燥させ、含水率8%以下、pHは10以下としてください。 ■付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							
下塗り	OXC-CWP	既調合	0.1～0.15	1	–	3h以上 7d以内	–	
上塗り	OXC-WAS (WPM)	0～5	0.12～0.15	2	3h以上	3h以上 7d以内	24h以上	ローラー・刷毛 エアスプレーガン 吐出量:600～1000ml/分 パターン幅:25～30㎝
	OXC-WAS (WF)	0～5	0.08～0.10					

フッ素仕様も可能

高耐久性・高耐候性

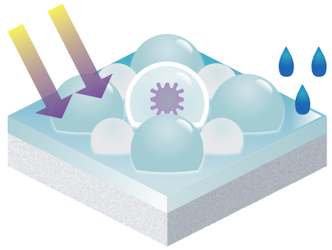
優れた耐久性・耐候性でコンクリートを塩害・中性化などのトラブルから保護します。

汎用コート剤



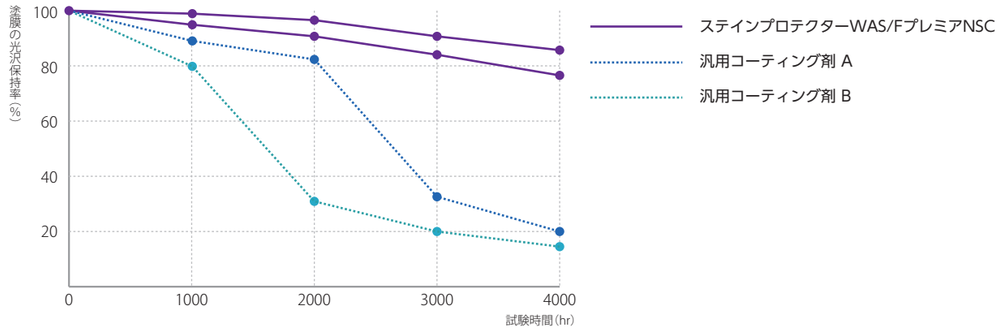
紫外線・水・酸素・二酸化炭素などの影響を受けると、塗膜内に劣化因子が発生し、周囲の塗膜組織を破壊させてしまいます。

ステインプロテクター WASプレミアNSC



ステインプロテクターWASプレミアNSCは、塗膜を形成し、劣化因子の発生を抑制します。劣化の進行を抑え高耐久性・高耐候性を高め、セメント成形板をトラブルから保護します。

耐候性試験



環境に配慮

負荷や臭いがほとんど無く、臭いの発生などが強く制限された現場でもご使用頂けます。

通気性を保持

ステインプロテクターWAS/WFプレミアは、塗膜でありながら通気性を保持しています。湿気がコンクリート内部に溜まることはありません。

風合いをそのままに

ペンキなどのように覆いかぶせるものとは異なり、セメント成形板の風合いや個性を損なわない仕上がりになります。

■上塗り剤は、合計0.20～0.25kg/㎡使用してください。
■下地により塗布量が変わる場合がございます。
■セメント成形板以外の下地に関しては念のため当社にご相談ください。

製品性状

製品名	ステインプロテクターWASプレミアNSC
外　観	ややエステル臭の白濁溶液
主成分	水溶性無機系シリカ変性シリコン複合樹脂
貯蔵性	12ヶ月 (30℃以下密閉状態で保管)
用　途	セメント成形板の防汚および保護

荷姿

ステインプロテクターWASプレミアNSC
15kg入角缶

洗浄方法

躯体に付着している泥汚れ、油汚れ、スケールなどを汚れに適した弊社洗浄剤で取り除き、丁寧に水洗いしてください。

乾燥

洗浄後に躯体表面の水分を拭き取ります。完全に乾燥させてから施工することをお勧めいたします。雨天時は施工しないでください。

使用方法

・ローラー、またはスプレーなどで躯体へ塗布してください。
・季節にもよりますが1～4時間程度で乾燥します。
・このまま乾燥させます。

使用上の注意

1. ご使用に際してはマニュアルをよくお読みください。
2. 躯体の泥汚れ、油汚れ、スケールはコートの浸透及び密着を阻害するため、必ず弊社洗剤で洗浄し、よく乾燥させてから使用してください。
3. 作業中はゴム手袋および眼鏡を着用し、特に目に入らないように注意してください。
4. 万が一目に入った場合には直ちに多量の水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
5. 水で希釈せずに使用してください。
6. 色相の変化を見るために必ずサンプルにて試し塗りを行ってください。
7. 硬化時間は、溶媒の揮発が終了すると少しずつ硬化していきますが、気温によって多少異なります。
8. 30℃以下の冷暗所で密閉状態で保管してください。
9. 容器のキャップは、商品の取り扱い時以外はしっかりと締めて保管してください。
10. 必要量だけ容器から取り出し、使用した残りは容器に戻さないでください。
11. 他社製品と併用により本製品の性能が十分発揮されないため他社製品との併用はおやめください。
12. 使用した器具は水や中性洗剤などで十分に洗浄してください。
13. 施行箇所周辺に樹木や草花がある場合には、製品が飛散しないようにしてください。
14. ご使用上の注意および詳細は安全データシート (SDS) をご参照ください。

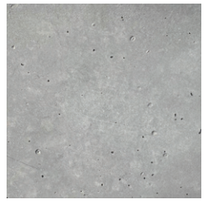
イタリアングレー1

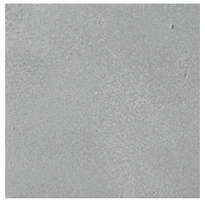
イタリアングレー2

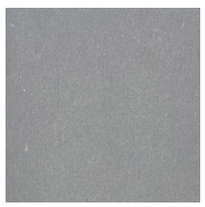
イタリアングレー3

イタリアングレー4

イタリアングレー5


イタリアングレー6


イタリアングレー7


イタリアングレー8

イタリアングレー9

イタリアングレー10

イタリアングレー11

イタリアングレー12

イタリアングレージュ2

イタリアンデニム

イタリアンデニム1

イタリアンデニム2

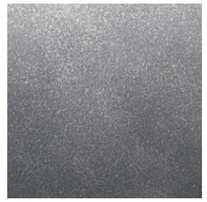
イタリアンデニム3

イタリアンデニム4

イタリアンデニム5

イタリアンデニム6

イタリアンデニムA

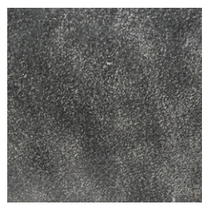

イタリアンデニムAA4

イタリアンネロフェッロAコンパネ

イタリアンネロ

イタリアンネロ1

イタリアンネロ2


イタリアンネロ3

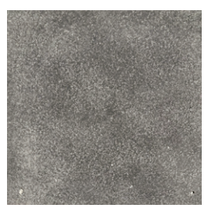
イタリアンネロ4

イタリアンネロ5

イタリアンネロ6

イタリアンネロ7

イタリアンネロ8

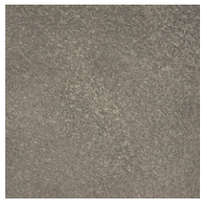

イタリアンネロ9

イタリアンネロ10

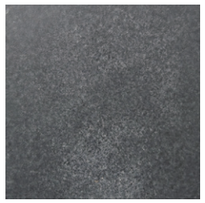
イタリアンネロ11

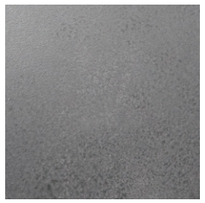
イタリアンネロ12

イタリアンネロ13


イタリアンネロ14

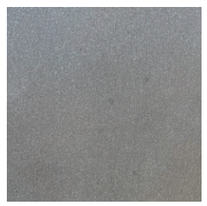
イタリアンネロ15

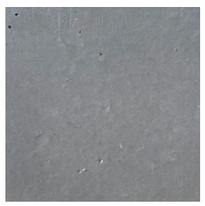

イタリアンネロデニムAA4


イタリアンネロフェッロAA4

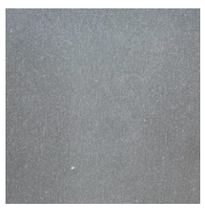
イタリアンネロフェッロAコンパネ

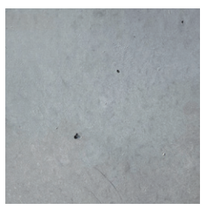
イタリアンフェッロ1

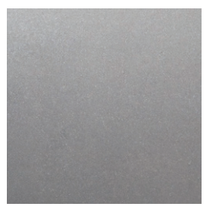

イタリアンフェッロ2


イタリアンフェッロ3

イタリアンフェッロ4

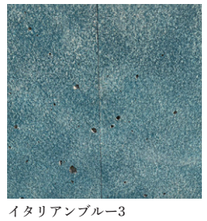

イタリアンフェッロ5


イタリアンフェッロ6


イタリアンフェッロA

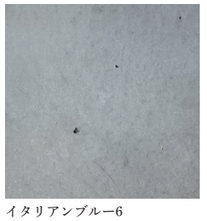
イタリアンブルー1

イタリアンブルー2


イタリアンブルー3

イタリアンブルー4

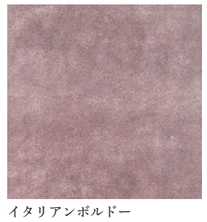
イタリアンブルー5

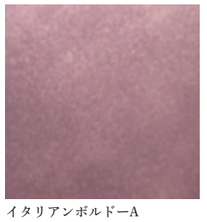

イタリアンブルー6

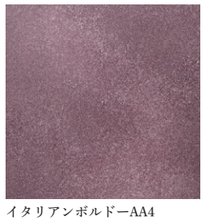
イタリアンブルー7

イタリアンブルー8

イタリアンブルー9


イタリアンボルドー


イタリアンボルドーA


イタリアンボルドーAA4

イタリアンボルドーAコンパネ

イタリアンマローネ1

イタリアンマローネ2

イタリアンマローネ3

イタリアンマローネ4

イタリアンマローネ5

イタリアンマローネ6

イタリアンマローネA

イタリアンマローネAA4

イタリアンマローネAコンパネ

イタリアンライトデニム

イタリアンライトデニムAコンパネ

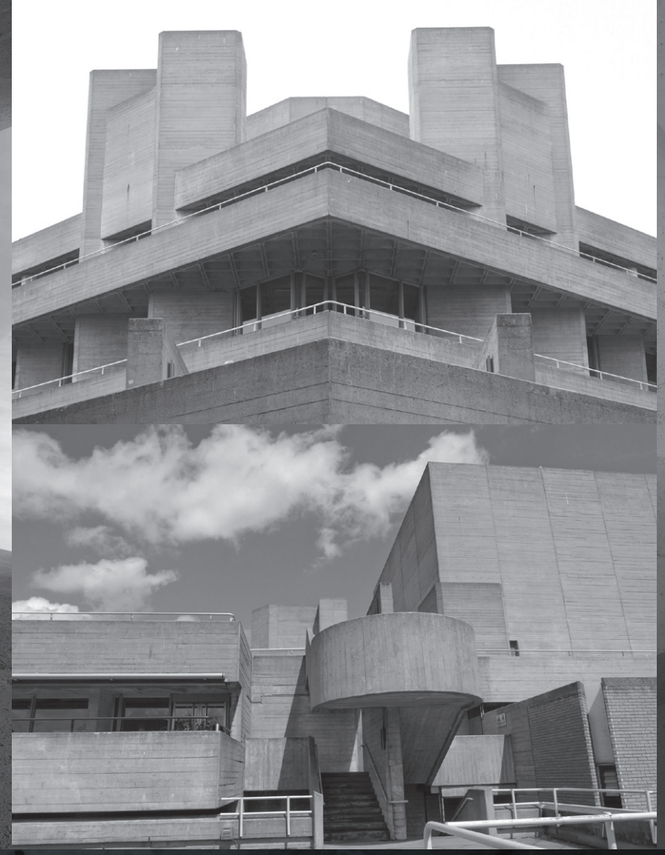
彩実イタリアンデニム

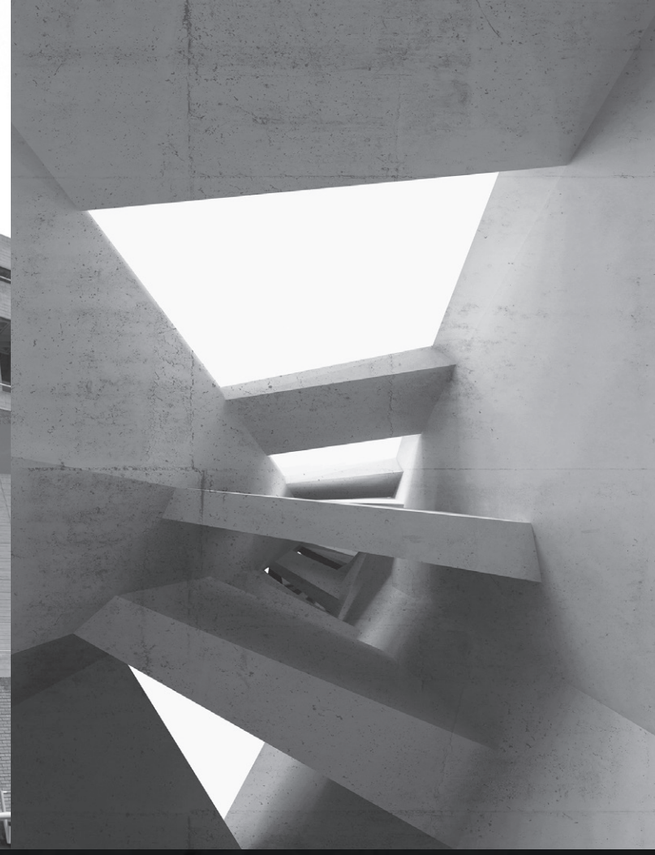
彩実イタリアンフェッロ

彩実イタリアンマローネ

打放意匠をオートクチュールで。

打放コンクリートの色調、色斑は設計者が思い描くイメージを、
オートクチュールにて施工、世界でたった一つの打放意匠を施工致します。





打放意匠をオートクチュールで。

打放コンクリートの色調、色斑は設計者が思い描くイメージを、
オートクチュールにて施工、世界でたった一つの打放意匠を施工致します。

株式会社OSHIROX

本社・ショールーム

559-0011　大阪市住之江区北加賀屋4-1-55
TEL 06-6690-7372 / FAX 06-6690-7373

工場

653-0032　兵庫県神戸市長田区苅藻通1-3-17
TEL 078-671-1641 / FAX 078-671-1643